

清流のほとり



令和5年12月1日(金)発行

園長 津田 将美

幼稚園HPのQRコードです

10の姿

園庭でとれる柿に興味をもった年長組の子どもたちが、柿パーティーを開くことになりました。そのことは、年中、年少組にも伝わり、園全体がその日を楽しみにしている雰囲気自然と醸成されていきました。大好きな年長組のお兄さん、お姉さんたちが意欲的に取り組む姿に、自分たちの楽しみも見つけている年中組、年少組の子どもたちの姿に、自立心、協同性の育ちと松田幼稚園の良さを改めて感じたのであります。

2学期も終わりに近づきましたので、公開保育の時に各学年でお話をさせていただいた「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」から振り返ってみたいと思います。



- 「健康な心と体」 → 早寝早起き、日々の遊び、楽しみな給食、運動会
- 「自立心」 → 助けすぎない支援、友だちとの関わり、自我の芽生え
- 「協同性」 → 仲間と創り上げる喜び、思いやり、励まし合い、関わり合い
- 「道徳性・規範意識の芽生え」
 - 友達の気持ちを考える、みんなでルールづくり、折り合いをつける
- 「社会生活との関わり」
 - お買い物ごっこ、お店屋さんごっこ、外部からのお客さんとの交流
- 「思考力の芽生え」 → 没頭体験、試行錯誤の繰り返し、失敗を生かす
- 「自然との関わり・生命尊重」 → 生き物の世話、栽培活動、収穫の喜び
- 「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」
 - おいもの長さ・重さ、看板づくり、折り紙遊び、形遊び
- 「言葉による伝え合い」 → 仲間と考え創造する行事、日々の遊びの中から
- 「豊かな感性と表現」 → やりきった充実感・達成感、読み聞かせ、帰りの会

「10の姿」は、小学校における各教科の到達目標のようなものではなく、植物が根っこから吸い上げる栄養のようなものです。これらは、個別に発達するのではなく、相互に関連し合って積み重ねられていくものだとして幼稚園教育要領には示されています。

その核となるものが「遊び」です。

2学期もたくさん遊び、その中から子どもたちの自立心や探究心、協同性などが育まれていきました。たくさんの人たちと前向きに関わったことで、栄養をたっぷりともらうことができました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

いよいよ12月を迎えます。笑顔と共にたくさんの栄養を更に蓄えることのできる12月にしていきたいと思えます。

